



婚活パーティー
「出会いの広場」

茂原 de 縁結び



市では、婚活パーティー「出会いの広場」を開催します。婚活中のあなた！パターゴルフ・BBQを通じて素敵な出会いをしてみませんか？

- ◆日 時 9月24日⑧ 14時30分～19時30分（受付14時～）
- ◆内 容 パターゴルフ・室内交流・BBQ（雨天時：室内交流・BBQ）
※詳細は生活課ウェブページに掲載。
- ◆対 象 者 おおむね40歳までの独身の方
（男性は市内在住または在勤の方。女性は市内外を問いません。）
- ◆定 員 男女各15人（応募者多数の場合は抽選）
- ◆参加費 男性4,500円、女性3,000円（当日集金）
- ◆会 場 真名カントリークラブ／ゲリー・プレーヤーコースゴルフガーデンレストラン
- ◆申込締切 7月31日⑧（郵送の場合は必着）
- ◆申込方法 参加申込書に必要事項をご記入の上、郵送または持参してください（FAX不可）。
※参加申込書は、生活課窓口で配布または同課ウェブページからダウンロード可。

お申し込み・お問い合わせは、生活課（2階）☎(20)1505、FAX(20)1600へ。

市長が行く

トランプに共感？



茂原市長 田中豊彦



平成24年、茂原市から日立が撤退し、続いて東芝コンポネツが撤退し、このままでは巨額の借金を抱えた茂原市は第二の夕張になることは必至でした。

しかし、血のにじむような企業誘致努力の甲斐があつて、新たにIPS（現 ジャパンディスプレイ）、沢井製薬

が茂原市に来てくれることになりました。当初は税収が上がり、財政の安定化につながることに大いに期待しました。IPS（現 ジャパンディスプレイ）だけでも、試算すると、数年間は10億円以上の固定資産税が入ってくることになり

ます。ところが、税収が増えた分については、国からの地方交付税が75%カットされてしま

法律で決められていることと、一蹴されました。企業誘致した努力に対するインセンティブがまるでありません。それでも雇用の拡大につながり、茂原市の若者が働く場所の選択肢が増えることは良いこと

だと思ひ直したのですが・・・6月議会の一般質問で、若者の雇用対策および雇用状況

についての質問がありました。ハローワーク茂原管内の有効求人倍率が県内で最下位の0・81倍で、ここ数年改善されていくことが指摘されています。一生懸命企業誘致したのに、なぜ求人倍率が改善されないのか不思議に思っていました。企業側と求職側の条件が合わない等のミスマッチが起きているのだろうか？

そこで調べてみたところ、茂原市を含む1市6町村以外の求職者が混じっていることがわかりました。求職申込書

は住所地に関係なくどこのハローワークでも提出できるため、例えば市原市、東金市、大網白里市はハローワーク千葉南の管轄であるものの、茂原の方が近いこともあって、ハローワーク茂原に登録して求職するため、ハローワーク千葉南でカウントされるべき人たちが上乘せされて、茂原市の求人倍率が低くなってしま

うのです。うーん。なんだか釈然としません。アメリカ大統領トランプではないけれど、せっかく苦勞して企業誘致してきたのですから、そしてなおかつ交付税まで減らされたのですから、今後は企業側に茂原市民を優先的に雇用してくれるよう働きかけていこうかと思つています。

さすがに「壁を作る！」とまでは言いませんけれど。

